

kadai02_1



作成するファイル

- Kadai02_1Controller.php
- kadai02_1.blade.php

Kadai02_1Controllerの作成

コマンドプロンプトを起動して、Laravelプロジェクトフォルダまで移動しましょう。
プロジェクトフォルダまで移動できたら、下記のmakeコマンドを実行してください。

```
php artisan make:controller Kadai02_1Controller
```

作成された「Kadai02_2Controller.php」にindexメソッドを追加して、「kadai02_2.blade.php」ビューを呼び出すようにしましょう。

```
public function index() {  
    return view('kadai02_1');  
}
```

kadai02_1ビューファイルの作成

「resources/views」フォルダの中に、「kadai02_1.blade.php」ファイルを作成して、Webページを表示するためのHTMLを記述してください。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="ie=edge">
  <title>kadai02_1 - サーバースイドスクリプト演習2</title>
</head>
<body>
  <h1>kadai02 Bladeを使ったページの表示</h1>
  <h2>コントローラーからビューの呼び出し</h2>
  <p>viewにあるページが表示される</p>
</body>
</html>
```

web.phpにルーティングの設定を追加

エントリポイントとコントローラーを紐付けるためのルーティングを追加してください。

```
// kadai02_1
Route::get('kadai02_1', [Kadai02_1Controller::class, 'index']);
```

チェック

PHPサーバーを起動して、正常に表示されるかを確認しましょう。

http://127.0.0.1:8000/kadai02_1/